令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について（ＫＳ２７）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和６０年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で１８回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和８年１０月１９日（月）から１０月２９日（木）までの間（本実施期間の前後 約１週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦

空挺作戦

海上作戦

統合防空ミサイル防衛

共同統合対艦戦闘

その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
  重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信

※　演習前後の期間において、自衛隊の航空機が大分空港を利用します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）の大分県内における訓練について

本演習において大分県内で実施する訓練は、

① 統合通信訓練
② 共同統合対艦戦闘・機動分散運用
③ 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練、対着上陸戦闘訓練（空挺降下）、訓練準備等）
④ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
⑤ 実証実験（小型無人機対処訓練）

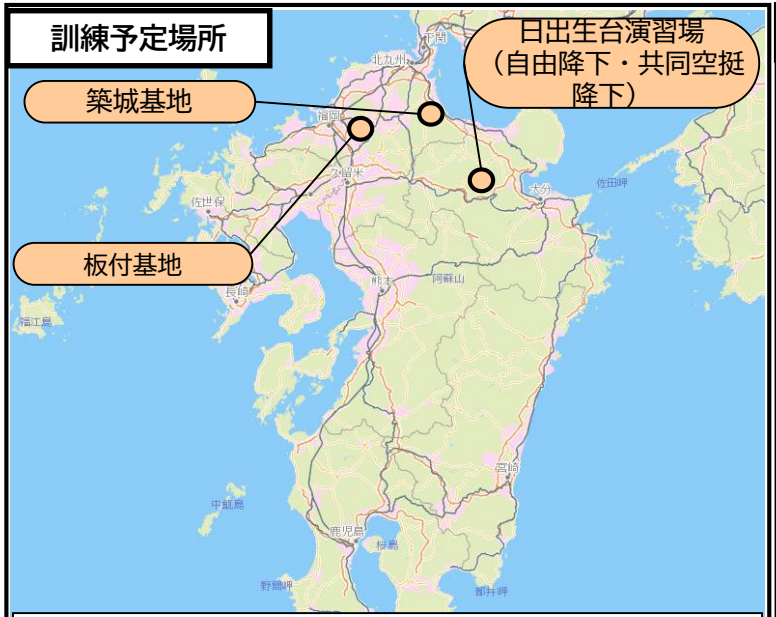
を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

大分県内で実施を検討している訓練内容
③　陸上作戦（対着上陸戦闘訓練（空挺降下））

航空自衛隊の輸送機（Ｃ－１３０Ｈ及びＣ－２）及び米軍の輸送機（Ｃ－１３０Ｊ）から昼間の自由降下・共同空挺降下訓練を日出生台演習場で実施する計画です。
なお、訓練間、武器（小銃等）を携行し、空包を使用する予定です。

【期　　間】令和８年１０月２５日（日）～２９日（木）：自由降下訓練、共同空挺降下訓練
【参加部隊】陸上自衛隊：第１空挺団（約３００名）
航空自衛隊：第１輸送航空隊（Ｃ－１３０Ｈ×２）・第２・３輸送空輸隊（Ｃ－２×２）
米　　軍：第１１空挺師団（約１３０名）　米空軍（Ｃ－１３０Ｊ×２）

訓練予定場所



※　天候により、空挺降下が実施できない場合等、築城基地、春日基地に着陸する可能性があります。

訓練イメージ

共同空挺降下

自由降下

Ｃ－２

Ｃ－１３０

大分県内で実施を検討している訓練内容
③　陸上作戦（対着上陸戦闘訓練）

日出生台演習場においては、日米の共同調整所における指揮機関訓練、対着上陸戦闘訓練、非実射による対艦戦闘訓練、日側単独による電磁波訓練、対空戦闘訓練、情報収集訓練、兵站訓練、衛生訓練を実施するとともに、陸上自衛隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施します。

電磁波訓練においては、実際に電波を発射いたしますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

十文字原演習場においては、兵站訓練を実施するとともに、陸上自衛隊航空機駐機、燃料補給、整備等を実施します。この他、日側単独で着上陸戦闘訓練、非実射による対空戦闘訓練を実施します。

大分港においては、日出生台演習場、大矢野原演習場及び霧島演習場等の訓練に参加する日米の部隊等の展開及び撤収のため、日米の航空機、日米の艦艇及びＰＦＩ船舶による輸送するために使用する計画です。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～２９日（木）　※米軍については、１０月２２日（木）～２８日（水）の間、共同訓練に参加し、その前後約３日間程度において準備・撤収を実施します。

【参加部隊】陸上自衛隊：陸上総隊、中部方面隊、北部方面隊、第１空挺団、第２高射特科団、西部方面システム通信群、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊等、８８式地対艦誘導弾、０３式中距離地対空誘導弾、９３式近距離地対空誘導弾、１５５mm榴弾砲、１２０mm迫撃砲、８１mm迫撃砲、ネットワーク電子戦システム（ＮＥＷＳ）、１６式機動戦闘車、ＵＨ－１、ＡＨ－６４、ＵＨ－６０、ＣＨ－４７、ＰＦＩ船舶等

航空自衛隊：Ｃ－２、Ｃ－１３０

米　　軍：第１２沿岸海兵連隊、無人偵察機、ＬＣＵ等

訓練予定場所

訓練イメージ

指揮機関訓練

対着上陸戦闘訓練

対艦戦闘訓練

（日）電磁波訓練

（日）対空戦闘訓練

（日）兵站訓練

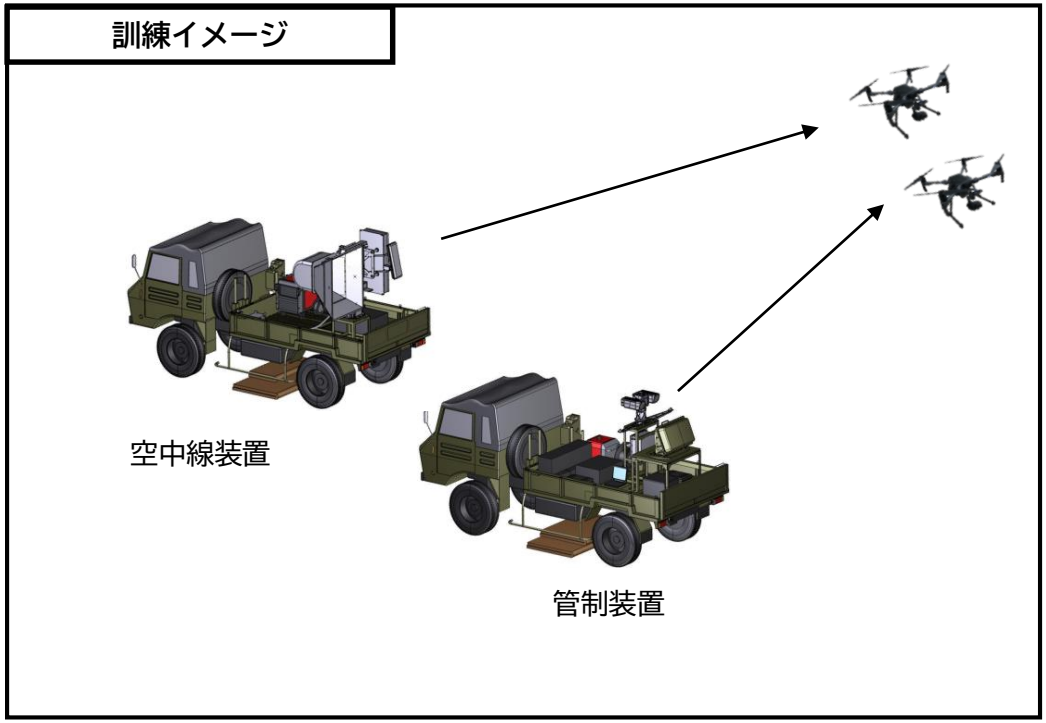
（日）衛生訓練

（日）駐機・燃料補給・整備等

大分県内で実施を検討している訓練内容
⑤実証実験（小型無人機対処訓練）

小型無人機対処訓練は、統合電磁波作戦訓練・統合防空ミサイル防衛訓練に連携して行われます。
実証実験のため、陸上自衛隊の高射学校が以下に示します訓練予定場所に展開し、無人航空機に対する電波状況の確認等を実施します。

【期　　間】令和８年１０月２１日（水）～１０月２９日（木）　　※　準備・撤収期間を含め約５日間を想定
【参加部隊】陸上自衛隊：高射学校　約１０名（電波状況確認車両含む。）×４両

訓練予定場所

訓練イメージ